

たつの市定例記者会見資料	
発表年月日	令和8年5月7日(木)
担当課	教育事業部歴史文化財課
電話	0791-75-5450

報道機関各位

ボランティアグループ「弥生倶楽部」活動成果展 「鹿の骨で骨細工」を開催

文化財ボランティアグループ「弥生倶楽部」が、令和7年度に歴史文化財課と協働で行った新規ワークショップメニュー開発の成果を紹介します。

記

- 1 展示名称 ボランティアグループ「弥生倶楽部」活動成果展
「鹿の骨で骨細工」
- 2 開催場所 たつの市立埋蔵文化財センターロビー
- 3 開催期間 令和8年4月26日(日)～6月5日(金)
9時～17時(入館は16時30分まで)
【休館日】毎週火曜日、5月7日(木)、6月1日(月)
- 4 展示内容 鹿骨細工6点(弥生倶楽部員が試作したもの)
- 5 観覧料 無料
- 6 その他 (1) 展示解説リーフレットは弥生倶楽部が作成
(2) 開発したワークショップは、本年度の夏の古代体験として
実施予定

<参考>鹿の骨と古代人の関わり、ワークショップ開発での着眼点

1 鹿の骨と古代人の関わり

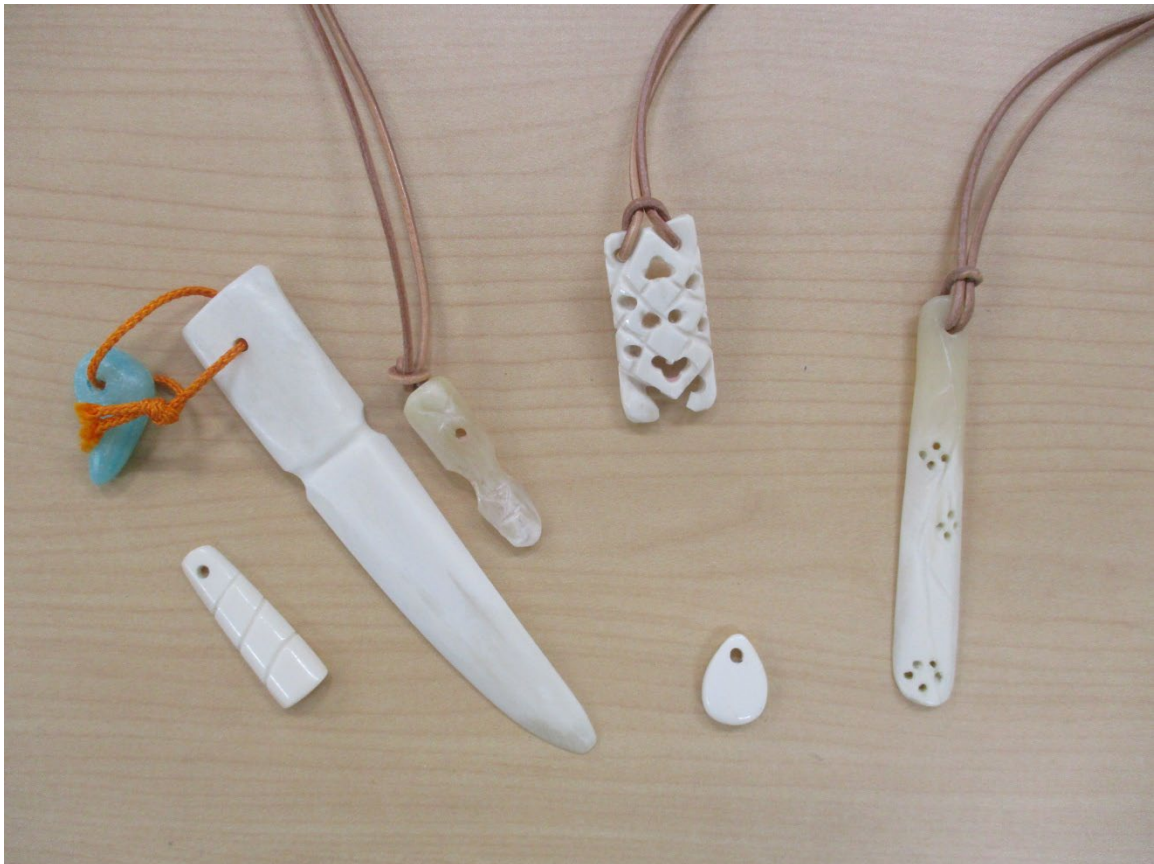
鹿の骨は縄文時代（今から約 16,000 年前）には確実に使用されていました。弥生時代以降、鉄製品が普及した後もモリやヤスなど、主に水の中で使用する道具類として使用され続けました。

鉄製品が一般化した後もモリやヤスとして重用された理由として、鉄に比べて水に強い（さびない）こと、鉄には及ばないものの、硬く、適度な粘りを持つ強靱な素材であることなどがあげられます。

2 ワークショップ開発での着眼点

今回のワークショップ開発に際しては、鹿の骨が持つ、軽さのわりに硬く、強靱という素材の性質を体感できること、作業時間 3 時間以内で製作できること（準備片付け含めて半日以内におさまること）、実施に際してけが等が起きにくく安全であること、以上 3 点を達成できるよう留意しました。

試作実験は、令和 7 年 8 月から計 3 回行いました。その結果、古代人が実際に使用したようなモリやヤスは先がとがっており、危険なこと、製作に時間がかかることから、古代体験では手のひらサイズまでのペンダントを製作することにしました。



できあがった鹿骨細工

令和8年度 弥生倶楽部活動展示

弥生倶楽部員渾身の作品！！

鹿の骨で骨細工



期間

令和8年4月26日 日

～6月5日 金

場所

たつの市立埋蔵文化財センター ロビー



【お問い合わせ】

たつの市立埋蔵文化財センター

〒679-4392 兵庫県たつの市新宮町宮内 16
Tel:0791-75-5450

開館時間 9時～17時(入館は16時30分まで)
休館日 毎週火曜日、5月7日、6月1日
入館料 無料

